



三重県保健環境研究所

# みえ保環研ニュース

私たちは、皆様の健康で安全な暮らしを科学でサポートしています。

第45号(2012年6月)

## 感染性胃腸炎に注意しましょう！

感染性胃腸炎とは、ウイルスや細菌など微生物の感染によって引き起こされる胃腸炎のことで、一年を通して患者報告数の多い感染症です。

今回は、呼吸器感染症とならんで最も多いノロウイルスとロタウイルスを中心とした子どものウイルス性胃腸炎についてお話しします。

### 原因ウイルスと症状

子どもの感染性胃腸炎はウイルス感染に起因するものが多く、とくに乳幼児に好発します。原因となるウイルスは、ノロウイルスとロタウイルスの他に、サポウイルス、腸管アデノウイルス、アストロウイルスなどが知られています。

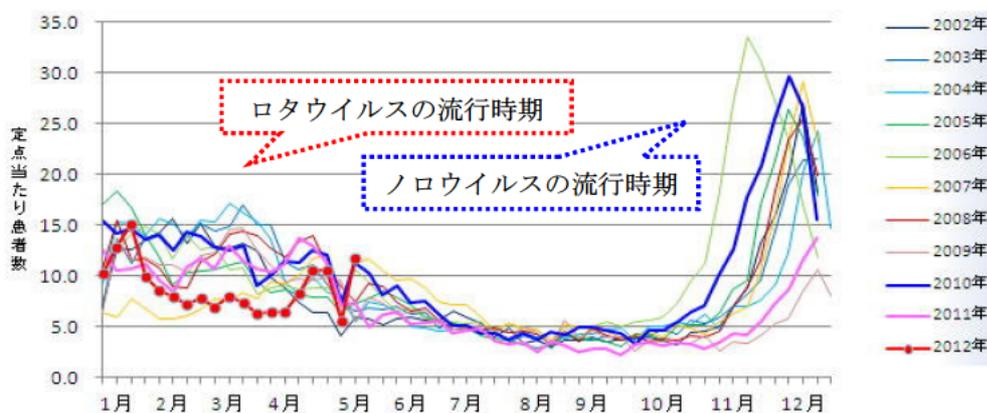
どのウイルスが原因でも症状は似ていて、下痢、嘔吐、腹痛、発熱がみられます。個人差はありますが、感染してから症状が出るまで2日前後、症状が続く期間はノロウイルスで1~2日、ロタウイルスで3日~1週間前後です。

ロタウイルスは重篤な下痢を起こすことが知られており、とくに生後3ヶ月以降の初回の感染が重症化しやすいようです。毎年、途上国を中心にロタウイルスによる胃腸炎が原因で、およそ50万人の子どもが亡くなっています。国内の推定患者数は年間80万人になり、その内の数%は脱水症や脳症などの合併症により入院しています。

### 流行時期

細菌性の胃腸炎は夏季に流行しますが、子どものウイルス性胃腸炎は冬から春にかけて流行するのが特徴です。三重県における感染性胃腸炎の小児科定点当たりの患者届出数は、例年11月上旬から急増し、12月をピークに一旦減少しますが、1~3月に再び増加し、その後徐々に減少していきます。

ノロウイルスの流行は晩秋から始まり、12~1月にピークとなります。ロタウイルスの流行は晩冬から始まり、3~4月にピークとなります(図参照)。



子どもの感染性胃腸炎はウイルスに起因するものが多いため、ノロウイルスとロタウイルスの流行に合わせて患者数変動していることが分かります。

図 三重県の感染性胃腸炎定点当たり患者届出数  
2012年第19週(5月7日~13日)まで

## 感染経路

ウイルス性胃腸炎患者の便や吐物中にはたくさんのウイルスが出てきています。それらが人の手指、食べ物を介して他の人の口に入って感染します。

## 予防のために

ウイルス性胃腸炎に特效薬はないので、治療には症状を軽減する対処療法が行われます。したがって何よりも予防が肝心です。

感染性胃腸炎の原因となるウイルスは抵抗力が強く、特にノロウイルスには市販の消毒用アルコールの効果は無いことが分かっています。ウイルス性胃腸炎を予防するうえで最も大切なのは手洗いです。外から帰った後、トイレの後、調理や食事の前には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。またオムツの交換や吐物などの処理のときは手袋とマスクを着用し、処理の後には十分に手を洗いましょう。もし床などが汚染されたら塩素系消毒剤\*で拭いて、感染の拡大を防ぐようにしてください。

ウイルス性胃腸炎を予防するワクチンとしては、唯一ロタウイルスのワクチンが開発されています。国内においても、昨年の秋から接種が可能になりました。任意接種となっていますので、かかりつけの医師にご相談ください。



手洗いは感染症予防の基本です！

## 保健環境研究所における取り組み

### ① 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業の一つとして、小児定点医療機関から搬入された感染性胃腸炎患者の便検体から、遺伝子検査による病原体の検出を実施しています。

検出されたウイルスに関する情報は、医療機関と国立感染症研究所に報告し、また三重県感染症情報センターのホームページにも掲載しています。迅速かつ正確な検査により、県内でどのようなウイルスが流行しているかをいち早く情報発信するよう努めています。

### ② 新たなウイルスの探索

最近の研究から、ウイルス性胃腸炎にはさらに多くのウイルスが関与していることが分かってきました。それらのウイルスが、県内で発生する感染性胃腸炎にどのくらい関与しているか、現在調査を進めているところです。

## 最後に

感染性胃腸炎は症状から原因となる病原体を特定することはできません。単なる下痢とは考えず、症状が出たら早めに医療機関を受診しましょう。

## 感染性胃腸炎に関する情報

### ● 三重県感染症情報センター

感染性胃腸炎のページ

<http://www.kenkou.pref.mie.jp/topic/ityou/ityou.htm>

※市販の塩素濃度 5%の漂白剤の場合、0.1%に希釈します（500ml のペットボトル 1 本の水にキャップ 2 杯の原液に相当します）。

### —編集委員会から—

みえ保健研ニュースについて、ご意見・ご質問等がございましたら下記までお寄せください。

### 三重県保健環境研究所

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11 TEL 059-329-3800 FAX 059-329-3004

E-メールアドレス [hokan@pref.mie.jp](mailto:hokan@pref.mie.jp)

ホームページ <http://www.hokan.pref.mie.jp/>

三重県感染症情報センターホームページ

<http://www.kenkou.pref.mie.jp/>